

◇令和2年度能勢町一般会計補正予算(第14号)

補正額 1,396万円 (新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費の増)

◇令和3年度能勢町一般会計予算に対し組み替え(編成替え)を求める動議

賛 否

否決

西河 巧	森田 則子	奥 久明	伊木真由子	太田 祐介	平田 要	大西 則宏	長尾 義信	中西 顕治	岡本ひとし	中植 昭彦	長尾 義和
×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	○	議長

注:議長は採決に加わりません。

**提案説明** 中植 昭彦

本年4月から、本町の基幹交通である路線バスが、廃止、減便される。この間議会においても審議を行ってきたところである。現在開催中の3月議会では、住民に利用しやすい交通手段を考え、町に対応策として令和4年度中には町内の移動手段に関する実証実験を行っていききたいとの答弁であった。それならば新交通システムが運用開始されるまでの間、切れ目のない移動手段の確保が必要と考える。コロナ対策交付金や令和2年度、新型コロナウイルス感染症拡大によって事業が執行出来なかった不要額で補完交通の運行を行うことを求め予算の組み替えを求めるもの。

**【賛成討論】**奥 久明

路線バスにつき、新型コロナや社会情勢変化のため路線維持が非常に厳しいのは一定理解する。しかし路線廃止や減便について広報のせやバス停留所での告知等、告知期間は約1か月と不十分で住民説明会等もなく、一方的な路線廃止、減便にしか感じ取れない。新しい交通手段を令和4年度から実証実験していくとのことだが、令和3年度の交通手段の代替案がないままの路線廃止や減便は住民へ甚大な影響が出る。住民の移動手段を守るため、新交通システム運用開始までの間、路線バス廃止、減便に対する補完交通は必要と考え、本動議に賛成する。

◇令和3年度能勢町一般会計予算

賛 否

原案可決

西河 巧	森田 則子	奥 久明	伊木真由子	太田 祐介	平田 要	大西 則宏	長尾 義信	中西 顕治	岡本ひとし	中植 昭彦	長尾 義和
○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	議長

注:議長は採決に加わりません。

**【反対討論】**奥 久明

原案の路線バスの一部路線廃止、減便は住民の移動手段への影響が甚大で、公共施設再編整備事業による財政の面でも認められない。令和2年度は国民の所得に占める税金や社会保障料等の負担割合を示す国民負担率が46.1%と過去最大の見込みで、国民所得減少の中、本町では経常収支比率104.4%、今後の起債の償還、経常経費増加により現状の行政サービス維持のため財政調整基金を取り崩すしかなく、自主財源確保も進んでおらず財政改善の見込みも感じられない。住民サービスを低下させない健全な財政計画があると思えず、原案に反対する。

**【反対討論】**中植 昭彦

令和3年度一般会計予算は、歳入を見ると町税や各種交付金は人口減少や所得減等によって大部分において減少している。また、経常収支比率は前年度と同様100%を超えており、収入で支出が賅えていない予算構造に陥っている。町の貯金である財政調整基金は10億円を切り、借金である町債は77億円にも上っている。また、住民生活の根幹を支える補完交通の予算が計上されていない。将来に渡って持続可能な財政計画及び移動手段の確保など必要な計画、予算化がされていないことから反対する。

◇令和3年度能勢町一般会計予算に対する附帯決議

賛 否

原案可決

西河 巧	森田 則子	奥 久明	伊木真由子	太田 祐介	平田 要	大西 則宏	長尾 義信	中西 顕治	岡本ひとし	中植 昭彦	長尾 義和
○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	議長

注:議長は採決に加わりません。

**提案説明** 平田 要

「能勢町地域公共交通会議」において「新たな交通システム」の導入は、令和4年春頃、運行開始(実証実験)としている。については、着実に、地域の実情に即した「利用しやすく、安心・安全」な輸送サービスが実現するよう、取り組むこと。また、令和4年春頃の運行開始までの間、路線バスの減便・運休に対し、公共交通空白地有償運送等を含む柔軟な運用の検討を図ること。併せて、事業の進捗状況については、住民に対し丁寧に情報提供し、パブリックコメント等により意見を聴取し、地域における交通弱者の生活に必要な移動手段となる「新たな交通システム」の構築に向け着実に進めるよう、能勢町議会から決議書を提出するものである。

**【反対討論】**奥 久明

まず、附帯決議は町の原案に賛成した上での意見表明となる。町の原案は路線バスについて一部路線廃止、減便の予定で予算を組んでいる。この原案を認めれば一部路線廃止・減便された便を利用されていた住民は移動手段を断たれ、困られる方、